

ISSN 0385-8367

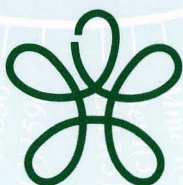
pUC119
3162bp

MEDICAL JOURNAL OF KINKI UNIVERSITY

近畿大学医学雑誌

第33卷 第4号

2008



MEDICAL JOURNAL OF KINKI UNIVERSITY

近畿大学医学雑誌

第33巻 第4号 2008

目次

巻頭言

神経内科疾患と糖鎖の多様性 楠 進

総説

緊急事態に対する病院の新しい取り組み：院内急変からテロ・災害時における地域連携まで
..... 嶋津岳士, 中江晴彦, 富吉浩雅, 浅沼博司, 松田外志朗, 栗原敏修, 橋本直樹 257

原著

虚血性心疾患における硝酸薬持続および間欠投与による前腕血流量の検討 中納一衛, 金政 健 265

天然高分子（フィブリン）と合成高分子（PGA）の複合化技術を導入した自家移植モデルにおける
軟骨再生 和田充弘 271乳癌個別化化学療法への基礎的研究：チミジル酸合成酵素遺伝子多型と酵素蛋白発現の解析から
..... 藤島 成, 乾 浩己, 綿谷正弘 283Guillain-Barré 症候群における, 抗ガングリオシド抗体の新たな測定法が陽性率におよぼす効果の検討：
フォスファチジン酸添加あるいは, ガングリオシド複合体を用いた抗体測定法 金田明子 291

実験的自己免疫性脳脊髄炎に対する phosphodiesterase 阻害剤, cilostazol の治療効果 呉城珠里 297

血管内視鏡を用いた冠動脈内表在性石灰化病変診断能についての検討：光干渉断層計を評価基準として
..... 山治憲司, 藪下博史, 林 孝浩, 宮崎俊一 305

骨誘導型生分解性三次元高分子を用いて再生誘導したヒト指骨モデルにおける骨膜の役割 徳井 琢 311

医学教育シリーズ

良質な試験問題の作成法とその評価の仕方 平野 豊, 松尾 理 323

臨床検査シリーズ

生化学検査および時間外緊急検査の実施状況とパニック値 増田詩織 329

研修医のための教育講座

ウイルス性慢性肝炎 萩原 智, 工藤正俊 335

モーニングセミナーから

心サルコイドーシスの1例
..... 磯野員理, 岩永善高, 菅 竜也, 高瀬 徹, 武輪光彦, 谷口 貢, 宮崎俊一 343

クリニカルクイズ

出題と解説 船内正憲 347

索引 (33巻1号, 2号, 3号, 4号) 351

編集後記 川田 暁

Author Index (33卷1号~4号)

- A 阿部弘之……………209
 有馬秀二……………85
 浅沼博司……………257
 東賢一……………95
- C 千葉康敬……………95
- D 土井裕美……………109
- F 文田壮一……………247
 船内正憲……………347
 藤島成……………283
- H 萩原智……………335
 濱田征宏……………85
 原秀憲……………133
 橋本直樹……………257
 服部高史……………25
 林孝浩……………9, 305
 平野豊……………323
 廣畑健……………89
 星合旻……………57, 101, 109
 細野真……………193
- I 市橋秀夫……………35
 今岡いづみ……………3
 乾浩己……………283
 石田知可子……………161
 石瀬卓郎……………9
 磯野員理……………343
 岩永善高……………343
 岩崎卓也……………89
- K 甲斐達也……………85
 梶原栄二……………209
 菅竜也……………343
 金政健……………85, 285
 金成安慶……………209
 金田明子……………291
 河原佐智代……………209
 河尾直之……………161
 川田修平……………45
 風本真希……………83
 木下さおり……………209
 岸谷讓……………239
 小池英爾……………57, 101
 工藤正俊……………335
 熊野正士……………3
 呉城珠里……………297
 栗原敏修……………257
- M 前嶋哲也……………85
 丸山耕一……………185
 増田詩織……………329
 松田外志朗……………257
 松永吉真……………17
 松尾理……………161, 323
 松崎晃治……………117
 南憲司……………89
 南川博康……………141
- 森永亮太郎……………247
 宮崎昌樹……………247
 宮崎俊一……………9, 305, 343
 宮澤正顯……………209
 村上卓道……………3
 村田清高……………79
- N 永井信夫……………161
 中坊麻利……………85
 中江晴彦……………257
 中川和彦……………247
 中井里香……………57
 中納一衛……………85, 265
 西坂文章……………251
- O 小畑幸四郎……………57
 大野恭裕……………179, 238
 老木正彰……………101
 岡田満……………199
 岡田清孝……………161
 岡田真広……………3
 岡本勇……………247
 岡本邦男……………247
 岡本涉……………247
 岡本真希……………63
 奥村二郎……………95
 奥野清隆……………25
- S 齋藤和也……………79
 坂本真由美……………209
 佐野安希子……………35
 佐野博幸……………35
 佐藤太郎……………247
 椎名昌美……………57
 島岡昌生……………101, 109
 嶋津岳士……………257
 塩田充……………101, 109
 塩崎均……………25
- T 高見勝弘……………85
 高瀬徹……………343
 武田英里……………209
 武輪光彦……………343
 竹澤健……………247
 田中康史……………85
 谷口貢……………9, 343
 谷山佳宏……………85
 寺尾恭一……………79
 釣谷充弘……………101, 109
 東田有智……………35
 徳井琢雅……………311
 富吉浩雅……………257
 鶴谷純司……………247
- U 上田真也……………247
 上田晃久……………149
 上榊潔……………203
 上嶋繁……………161
 馬野奈津子……………209
- W 和田充弘……………271
 綿谷正弘……………283

Y	藪 下 博 史	305
	柳 生 行 伸	3
	山 治 憲 司	305
	安 田 佳 子	57
	義 江 修	69
	葉 輝 明	3
	湯 浅 貴 恵	209
	巻頭言 金丸昭久	1号
	古賀義久	2号
	工藤正俊	3号
	楠 進	4号
	編集後記 川田 暁	1号, 2号, 3号, 4号

Subject Index (33巻1号～4号)

- A Adherence.....35
アロマトーゼ mRNA101
- B Ber-EP457
b-FGF271
- C CADS141
Calcium influx35
Cartilage degradation149
CASS133
CD11b.....35
治療.....79
Chondrocyte149
cilostazol.....297
Computer Applied Dementia Scale.....141
- D 大腸癌.....25
脱落膜細胞101
- E 栄養膜細胞.....101, 109
Eosinophil.....35
エリスロポエチン受容体 mRNA101, 109
エリスロポエチン mRNA101, 109
- F フォスファチジン酸 (PA)291
不安定プラーク305
フッ化ピリミジン系薬剤283
- G ガングリオシド291
Guillain-Barre 症候群 (GBS)291
- H hepatocyte growth factor45
光干渉断層計305
引き離し試験117
非定型抗精神病薬141
ヒト鼻中隔軟骨細胞.....17
ヒト初期胚109
骨結合係数117
ハイドロキシアパタイト117
Hydroxyapatite311
- I Inclusion cyst57
intercellular adhesion molecule-1297
- J 自家移植271
腎血管性高血圧症.....85
自律神経障害133
実験的自己免疫性脳脊髄炎297
持続投与265
徐放システム271
術後管理.....79
- K 化学療法283
冠動脈305
間欠投与265
肝再生.....45
カルレチニン.....57
粥腫破綻形態9
経皮的腎動脈形成術.....85
血管内視鏡.....9, 305
骨膜311
抗ガングリオシド複合体抗体291
抗ガングリオシド抗体291
- 梗塞後病態9
甲状腺分化癌.....79
虚血性心疾患265
急性冠症候群305
急性心筋梗塞9
- L LOX-1149
- M MCP-1149
免疫化学療法.....25
- N 軟骨再生271
NF- κ B149
認知機能障害141
妊娠6週101
乳癌283
- O Oxidized LDL149
- P パーキンソン病133
パーキンソン症候群133
PC-PLC.....35
ペプチドワクチン.....25
phosphodiesterase 阻害剤297
Poly (L-lactide- ϵ -caprolactone)311
P-selectin297
プラスミノーゲン.....45
- R 卵黄嚢109
卵巣子宮内膜症.....57
レニン・アンジオテンシン系.....85
RT-PCR17
- S 再発例.....79
再生医学311
左室リモデリング9
生分解性高分子271
生分解性ポリマー.....17
線維筋性異形成.....85
石灰化305
接着分子297
試験問題評価323
試験問題作成323
診断.....79
進行性核上性麻痺133
自然流産脱落膜109
SP細胞45
硝酸薬265
- T 多発性硬化症297
耐性265
多系統萎縮症133
チミジル酸合成酵素283
チミジル酸合成酵素遺伝子多型283
チミジル酸合成酵素遺伝子多型と酵素蛋白発現283
Tissue engineering17, 311
統合失調症141
- U UFT/UZEL25
- Y 陽極酸化チタン117
- Z 前腕血流量265
造血幹細胞移植.....45

近畿大学医学会会則

第 1 条 本会は、近畿大学医学会と称する。

第 2 条 本会は、医学の進歩発展に寄与し、医学的知識の向上と、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

第 3 条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 近畿大学医学雑誌および Acta Medica Kinki University の発行
2. 学術講演会の開催
3. 学術図書の発行
4. その他本会の目的を達成するために必要な事業

第 4 条 本会は、次の会員をもって組織する。

正 会 員 近畿大学医学部に所属する教員，研修医，大学院学生および特別研究生

近畿大学学園の医学部以外の教職員および研究員で本会に入会を希望し評議員会で承認されたもの

近畿大学医学部卒業生

準 会 員 近畿大学医学部に在学する学生

名誉会員 本会の発展に著しい貢献のあった者で、幹事会の提議により評議員会で承認されたもの

特別会員 前記会員のほか、本会の主旨に賛同し入会を希望する医学関係者で評議員会で承認されたもの

賛助会員 本会の主旨に賛同し、本会に援助することを希望するもので評議員会で承認されたもの

第 5 条 会員は、附則に定める会費および入会金を納入しなければならない。

2. 会費を納入した会員は、近畿大学医学雑誌および Acta Medica Kinki University の配布を受けるほか、第 3 条の事業に参加することができる。
3. 準会員は第 3 条の事業に参加できるが雑誌の定期的配布は受けられない。但し学術講演会や雑誌に発表した場合は当該巻号の雑誌を希望により受けることができる。

第 6 条 本会に次の役員をおく。

会 長 1 名 近畿大学医学部長がこれにあたる

副 会 長 1 名 会長が委嘱する

顧 問 若干名 会長が委嘱する

幹 事 若干名 会長が委嘱する

評 議 員 若干名 会長が委嘱する

監 事 2 名 会員中より評議員会で選出し会長の承認を得る

2. 役員任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。

第 7 条 会長は、本会を統轄し、必要に応じて幹事会、評議員会を開催し、その議長となる。

2. 副会長は、会長を補佐し、会長が不在のときは、これを代行する。

第 8 条 幹事は、幹事会を組織し、本会の会務（庶務・会計・編集その他）を分担し執行する。

第 9 条 評議員は、評議員会を組織し、本会の重要事項を評議する。

第 10 条 監事は、本会の会計および資産などを監査する。

第 11 条 総会は、年 1 回これを開催し事業の報告などを行う。

第 12 条 本会の会則を変更する場合は、評議員会において出席者の 2 分の 1 以上の同意を必要とする。可否

同数のときは議長の決めるところによる。

ただし評議員会の成立は2分の1以上の出席を要する。この場合委任状をもって出席に代えることができる。

第13条 本会の会計年度は、毎年1月1日から始まり12月31日に終わる。

第14条 本会の事務所は、近畿大学医学部内におく。

附 則

1. この会則は、昭和51年11月1日から施行する。
2. この会則の改正は、平成10年6月18日から施行する。
3. 会費および入会金は次のごとく定める。

	会 費	入会金
正 会 員	年額 3,000円	1,000円
準 会 員	会費、入会金ともに無料とする	
特別会員	年額 3,000円	1,000円
賛助会員	年額 50,000円以上	

なお、会費・入会金を変更する場合は評議員会において定め、会員にその旨通知する。会費は、年度始めに前納する。

4. 会費未納の場合は、会員の資格を失う。
5. 会長は、編集委員若干名を医学部教員中から委嘱する。

編集委員は、医学雑誌等の発行に関する業務を行う。任期は3年とし、再任を妨げない。

(2007年5月24日改訂)

近畿大学医学会雑誌投稿規定

1. 近畿大学医学会は公式に2種の雑誌を刊行している。その一つは欧文誌の Acta Medica Kinki University (Acta Med Kinki Univ) で、用語は英語とするが、ドイツ語あるいはフランス語の論文も受付ける。他は和文誌の近畿大学医学雑誌(近畿大医誌)で、用語は日本語とする。
2. 投稿者は原則として近畿大学医学会会員に限る。ただし、編集委員会が特に依頼したものはこの限りではない。
3. 論文は医学に関する創意的な原著、総説、症例報告などで、原則として他の刊行物に発表もしくは受理されていないものに限る。
4. 原稿は良質な用紙を用い、本規定および別に定める原稿作成要項に従って作成され、内容と体裁が整っており、直ちに印刷することができる状態のものでなければならない。
5. 原稿の本文の長さ、ならびに図、表、および文献の数は全体のバランスにより制限することがある。
6. ヒトを対象とする研究の報告は、ヘルシンキ宣言の原則にのっとり倫理的になされたものである事を記載しなければならない。また、動物実験の報告は動物愛護の精神に基づき倫理的になされたものである事を記載しなければならない。
7. 既出版の図表などの引用については出版社および著者の承認書を添付し、また個人識別ができる患者の写真を掲載するときは、患者本人もしくは法定代理人の承諾の手紙を添付することが必要である。
8. 投稿の際は、原稿(original)およびコピー(Acta 4部、近畿大医誌3部)ならびに編集委員会所定の連絡票および原稿チェックリストを提出する。
9. 共同執筆の場合、近畿大学医学会所定の書式で、すべての共著者が当該原稿の投稿を承認したことを記述した資料を添付すること。
10. 投稿原稿の掲載の可否は、すべて編集長が依頼した担当編集委員及び複数の査読者による査読を経て、決定される。
11. 論文の掲載の順序は、原則として完成原稿の受理日の順とする。ただし、校正等に要する時間によっては掲載される号が変わることがある。
12. 校正は著者の責任において行われる。著者校正は初校のみとする。初校にあつては必要最小限の訂正に止め、行の増減を伴わないよう配慮すること。組版に影響するような大きな修正は編集長の許可を必要とする。指定の期日までに返却されないときは編集委員会の責任校了とする。
13. Acta Med Kinki Univ については、カラー写真の費用は全額著者が負担するものとする。近畿大医誌については、組版代および図版(写真を含む)費用の全額を著者が負担するものとする。また両誌とも別刷についてはすべて有料とする。尚、編集委員会からの依頼論文など特殊な場合の経費については、別途に定める。
14. 特急査読論文として当該年度の3月15日に学位記を授与されるための論文(甲)を9月1日より10月31日までの間に投稿する場合、近畿大学医学会事務室に特急査読料(100,000円)を納付した後に受付される。
15. 発行予定は、Acta Med Kinki Univ では年2号(6, 12月)、近畿大医誌では年4号(3, 6, 9, 12月)とする。
16. 投稿先は〒589-8511大阪狭山市大野東377番地の2 近畿大学医学部 近畿大学医学会雑誌編集室(電話072-366-0221 内線3218 FAX072-367-8810)とする。著者本人が持参するか、書留郵便で郵送すること。
17. 「原稿作成の手引」は各巻の第1号に掲載されている。また、必要な場合は編集室に直接申込むこと。
18. 論文の著者および共著者は、当該論文の著作権が近畿大学に帰属すること、および掲載された論文については冊子体以外の媒体で公開されることを承諾したうえで投稿する。

(2008年5月1日改訂)

近畿大学医学会役員

会長	塩崎 均	幹事(会計)	伊藤 浩行
副会長	義江 修	〃	〃 東田 有智
顧問	大柳 治正	〃 (編集)	川田 暁
幹事(庶務)	松尾 理	評議員	教授 全員
〃	〃 工藤 正俊	監事	古賀 義久

編集委員会

川田 暁 (編集長)			
東野 英明	伊藤 浩行	池上 博司 (教育講座)	上裕 俊法 (臨床検査シリーズ)
金丸 昭久	金政 健	加藤 天美	古賀 義久
松尾 理 (医学教育シリーズ)	宮崎 俊一 (モーニング・イブニングセミナー)		宮澤 正顯
村上 卓道	村田 清高	中川 和彦	西尾 和人
奥村 二郎	奥野 清隆	竹村 司 (クリニカルクイズ)	巽 信二

「原稿作成の手引き」は各巻の第1号にあります。
また必要な方は編集部宛お申込み下さい。

近畿大学医学雑誌

第33巻 第4号

平成20年12月25日 印刷
平成20年12月25日 発行

発行人 塩崎 均
編集人 川田 暁
発行所 近畿大学医学会
〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377番地の2
近畿大学医学部内
印刷所 近畿大学 管理部 用度課(出版印刷)
〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3丁目4番1号

本書の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・
出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。

編集後記

2008年（平成20年）の第4号をここに発行いたしました。今回は内容も量も非常に充実したものとなったと思います。新しいシリーズとして、上裕教授の企画で「臨床検査シリーズ」の第一回目が本号に掲載されました。その他学位論文が7編も掲載されました。引き続きこのような充実した雑誌を発行していきたいと考えています。

編集長 川田 暁

今年度、御多忙の中近畿大医誌と Acta Med Kink Univ に投稿された論文を査読して頂いた先生方に感謝の意を表して下記にお名前を列記致します。(論文受付順)

松本長太（眼科准教授）	上裕俊法（臨床医学部教授）
吉田益喜（皮膚科講師）	船内正憲（腎臓・膠原病内科准教授）
東野英明（薬理学教授）	福田寛二（リハビリテーション医学教授）
木村彰男（循環器准教授）	佐藤隆夫（病理学教授）
重吉康史（解剖学教授）	北山仁士（心臓血管外科准教授）
森 一功（耳鼻咽喉科教授）	村田 哲（生理 I 准教授）
宗像 浩（生化学教授）	阪上 浩（薬理学講師）
松尾拓哉（解剖学講師）	植村天受（泌尿器科教授）
三井良之（神経内科准教授）	宮澤正顯（免疫学教授）
村上卓道（放射線診断教授）	義江 修（細菌学教授）
佐賀俊彦（心臓血管外科教授）	大磯直毅（皮膚科講師）
中川和彦（腫瘍内科教授）	奥野清隆（下部消化外科教授）
西尾和人（ゲノム教授）	下野太郎（放射線診断講師）
汐見幹夫（消化器内科准教授）	稗島州雄（細菌学准教授）
齋藤昭夫（生化学講師）	宮良高維（呼吸器・アレルギー内科講師）